

平成26年度 事業報告書

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

1. 総会の開催

臨時総会	平成26年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成25年度の事業報告・同収支決算」の承認について文書による持ち回り決議を行った。 ・この結果、過半数の賛成により承認された。(会員総数34、“賛”=29、“否”=0)
通常総会	平成27年2月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・主に平成27年度事業計画・収支予算の承認および全国地域活動連絡協議会(以下、全地協)規約等の改正 ・ステーションホテル小倉(北九州市)

2. 通常理事会の開催

第1回	平成26年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・主に平成25年度の事業報告・収支決算の承認 ・捧梅子、高木美恵子両監事による監査(6月14日) ・文書による持ち回り決議の結果、過半数の同意[“賛”=10名 “否”=0名]
第2回	平成26年11月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・主に平成27年度事業計画・収支予算の承認および全地協規約等の改正 ・東京都渋谷区「日本薬学会ビル会議室」
第3回	平成27年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ステーションホテル小倉(北九州市)

3. ブロック会長会議の開催

各地域活動連絡協議会(以下、各地協)および単位母親クラブからの意見を集約して全地協の活動に反映するため、ブロック毎に会長会議を開催した。

北海道・東北ブロック	11月12日	ブロック研修会(宇都宮市) に合わせる
関東・甲信越ブロック	11月13日	ブロック研修会(宇都宮市) に合わせる
	1月26日	児童健全育成推進財団事務所にて
東海・近畿・北陸ブロック	10月4日	ブロック研修会(富士宮市) に合わせる
	1月14日	京都市にて開催
中国・四国ブロック	1月18日	広島市にて開催
九州ブロック	11月	文書により意見徴収
	1月15日	北九州市にて開催

4. 全国会長会議の開催

平成27年2月18日	ステーションホテル小倉（北九州市）
------------	-------------------

5. 第28回全地協表彰の実施

各地協から推薦があった個人39名、団体9団体について、平成27年2月19日の地域組織活動指導者全国大会（以下、全国大会）席上で表彰式を執り行なった。

第1～28回の表彰者累計は個人1,182名、団体757団体となった。

6. 全国大会・ブロック別研修会の開催

(1) 一般財団法人こども未来財団および一般財団法人児童健全育成推進財団より助成を受け、主管各地協の協力により開催した。

(2) 全国大会

全地協の通常総会、全国会長会議等と同時開催とした。

北九州市	平成27年2月19日(木)・20日(金)
------	----------------------

【主催】厚生労働省、(一財)こども未来財団、(一財)児童健全育成推進財団、全地協、北九州市地域活動連絡協議会

【後援】北九州市

(3) ブロック別研修会

北海道・東北／関東・甲信越ブロック	栃木県地協 宇都宮市	11月12日	100名
		13日	70名
東海・近畿・北陸ブロック	静岡県地協 富士宮市	10月4日	65名
		5日	100名

【主催】厚生労働省、(一財)こども未来財団、(一財)児童健全育成推進財団、全地協、栃木県地域活動連絡協議会/静岡県地域活動連絡協議会

7. 各地協の研修費用助成

各地協が実施する虐待予防事業等に対して1地協10万円を限度に26地協に対して助成した。

8. 平成26年度全地協統一推進事業

(1) 「公園の安全点検」として、遊具の点検と防犯点検を実施。

29地協から報告があり、遊具点検は513クラブ925か所（前年は525クラブ990か所）、防犯点検は475クラブ764か所（前年は446クラブ860か所）となった。

(2) 「児童虐待予防事業」を実施。

① 6月24日に検討委員会議を開催して、前年度に引き続き「心のつぶやき」を行った。

② 「心のつぶやき」公募は11月末までとし、その後沢崎俊之埼玉大学教授の選択により一部を『子どもの「心のつぶやき」カテゴリーと投稿例』として各単位クラブ他へ6月初旬に配布した。

③ 昨年末現在、24地協より1,574件（地協不明分3件を含む）の応募。（前年は23地協より398件）

検討委員は以下のとおり。 (敬称略)

委員長	埼玉大学 教育学部 教育心理カウンセリング講座 教授	沢崎 俊之
委員	北海道・東北ブロック 仙台市地域子育て支援クラブ連絡協議会会長	子山 早知子
//	関東・甲信越ブロック 栃木県地域活動連絡協議会 会長	上岡 恵子
//	東海・近畿・北陸ブロック 石川県地域活動連絡協議会 会長	奥野 美彌子
//	中国・四国ブロック 広島市地域活動連絡協議会 会長	佐々木 洋子
//	九州ブロック 大分県地域活動連絡協議会 会長	高木 美恵子
//	児童健全育成推進財団 理事	興津 哲哉

(注)子山早知子さんは仙台市地協会長を退任

9. 全地協組織の現況

各地協傘下の単位クラブ数は1,540クラブ（昨年は1,5470クラブでマイナス110）、その会員数は58,304名（昨年は63,465名でマイナス5,161名）であった。

10. 広報・情報発信

(1) 通信委員ならびにブログ委員の選任

各ブロックより1名の通信委員および各地協からブログ委員を選任した。

通信委員は以下のとおり。 (敬称略)

竹内 峰子	北海道・東北ブロック	特定非営利活動法人みらい子育て ネット山形 会長
大川原 さとみ	関東・甲信越ブロック	みらい子育てネット・新潟 会長
加藤 愛子	東海・近畿・北陸ブロック	愛知県地域活動連絡協議会 会長
吉田 しをり	中国・四国ブロック	岡山県地域活動連絡協議会 会長
小野 マリ子	九州ブロック	北九州市地域活動連絡協議会 会長

(2) 通信委員会議の開催

平成26年9月9日に開催し、主に機関誌「みらい子育てネットだより(27号)」について討議した。

(3) 機関誌27号は40周年記念特集に限定することとし、内容は以下のとおり。

- ① この10年間の歩み・活動に焦点を絞った。
- ② 通信委員の自由な方針で、1頁を使ってこの10年間の各ブロック活動を紹介した。
- ③ 発行日は3月末日とし発送は5月中に行った。

11. 地域活動総合保険「みらい」について普及促進を図った。

- (1) 今年度加入クラブ数は884クラブ（昨年度は929クラブ）であった。
- (2) 平成23年度と同様の割合で保険事務取扱費用を還元し2月2日に各地協へ配分した。

12. 各種運動・行事への協力等

春・秋の全国交通安全運動ほか、行政や他団体の行事・地域行事に協力参加した。

(1) 主な協力事業・行事

- ① 身近な子育て応援活動の推進（こども未来財団）
- ② 児童福祉週間（厚生労働省、全国社会福祉協議会、こども未来財団）
- ③ 厚生労働省児童虐待防止対策協議会（小林睦子会長出席）
- ④ 共同募金運動（中央共同募金会）
- ⑤ 「社会を明るくする運動」（法務省）

(2) 主な協賛事業・行事

- ① 春・秋の全国交通安全運動（内閣府、警察庁、厚生労働省ほか）
- ② 道路ふれあい月間（国土交通省）